

・海外感染症流行情報 2023 年4月

(1) 全世界: 新型コロナウイルス流行状況

23 年 4 月は南アジアや中東で新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあります(WHO Corona virus disease 23-4-20)。とくにインドでは、オミクロン株の新しい亜型である XBB.1.16 が拡大しており、それによって患者数が増えている模様です。XBB.1.16 は現在、世界的に流行している XBB1.5 に近縁のウイルスですが、免疫逃避に加えて感染力がやや強い可能性があります。WHO も 4 月 17 日に、XBB.1.16 の監視レベルを 1 ランク高くしました(WHO 23-4-17)。なお、日本では 5 月 8 日から新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行されます。これに伴い、入国時に要求していたワクチン接種証明書や出国前検査証明書の提出が不要になる予定です。[水際対策 | 厚生労働省 | 日本政府 \(mhlw.go.jp\)](#)

(2) アジア: 東南アジアでの Dengue 熱流行状況

東南アジア各国で Dengue 熱患者数が増加しています(WHO 西太平洋 23-4-13)。マレーシアやベトナムでは 2 万人以上、フィリピンでは 3 万人近くの患者が確認されており、いずれも昨年同期の 2~3 倍の数になっています。一方、シンガポールでは約 2000 人と昨年よりも少ない数です。東南アジアはこれから雨季に入るため、患者数はさらに増加することが予想されます。

(3) アジア: 中国での鳥インフルエンザ患者の発生

中国で今年 2 月末に、鳥インフルエンザ A(H3N8)型に感染した患者が発生しました(WHO 23-4-11)。この患者は広東省の 56 歳女性で、病状は重症とのこと。感染源は家禽と推定されています。中国では A(H3N8)型の患者が 22 年 4 月~5 月に 2 人確認されており、今回の患者は 3 人目になります。なお、中国では鳥インフルエンザ A(H5N1)型および A(H5N6)型の患者も発生しています。

(4) アジア: フィリピンでジフテリアの患者が増加

フィリピンでは今年になりジフテリアの患者が増加しています(ProMED 23-4-20)。3 月末までの患者数は昨年が 3 人でしたが、今年は 33 人で 8 人が死亡しました。このうち 12 人が首都マニラ周辺での発生です。ジフテリアは飛沫感染などにより拡大する感染症で、三種混合ワクチンによる予防が有効です。

(5) アフリカ: 赤道ギニアとタンザニアでマールブルグ熱発生

前号で報告したように、アフリカの赤道ギニアとタンザニアでマールブルグ熱の患者が発生しています。赤道ギニアでは4月中旬までに患者数が38人(確定15人、疑い23人)になり、このうち34人が死亡しました(WHO 23-4-15)。この1ヶ月で患者数が9人増加しており、流行は国内の広い範囲に及んでいます。一方、タンザニアでは流行が北西部に局限しており、患者数は累計9人で1か月前からの増加は1人でした(WHO アフリカ 23-4-16)。

(6) アフリカ: ケニア東部でコレラが流行

ケニアでは昨年10月から東部のガリッサ州を中心に、コレラの流行が発生しています(英国 National Travel Health Network 23-3-31)。3月末までに患者数は7350人で、うち116人が死亡しました。首都ナイロビでも患者が確認されたとの情報があります(ProMED 23-3-25)。ケニアに滞在する際は飲食物の摂取に十分注意してください。

(7) 中南米: アルゼンチンで蚊媒介感染症が増加

アルゼンチンの首都ブエノスアイレスなどでデング熱の患者が増加し、今年は4月上旬までの患者数が4万人になりました。(英国 Fit For Travel 23-4-19)。同国ではチクングニア熱の患者も1000人以上発生しています。前号でも報告したように、今年は中南米全体でデング熱やチクングニア熱など蚊媒介感染症が増加しており、滞在中は蚊に刺されない対策を十分にとってください。

(8) 中南米: チリで鳥インフルエンザの患者発生

3月中旬、チリ北部で鳥インフルエンザ A(H5N1)型の患者が発生しました(WHO 23-4-10, 21)。患者は53歳男性で重篤になっています。現在、世界的にトリの間で A(H5N1)型の流行が拡大しており、南米ではヒトの患者も、昨年12月にエクアドルで初めて確認されました。今回の患者は南米で2人目の事例で、家禽などから感染したとみられています。